

眞子さま&小室さん“駆け落ち婚”/甲子園Heroes&全記録

週刊朝日

創刊9周年



9・17

増大号

470円

井上芳雄、堂本光一

9月おススメ

株主優待30銘柄

永田町に大激震
“菅退場”の
全内幕

「親知らず」

放置して大丈夫？

オーラルケアの意識の高まりに伴い、近年は虫歯で歯を失う人の数は減少傾向にある。一方で「歯並びの乱れ」や「親知らず」が原因で、思わぬ口腔内トラブルに見舞われるケースがあることは意外と知られていない。これらを放置することで、将来的にどんなリスクがあるのか。それぞれの専門家に聞いた。

静岡県在住の70代女性は

は、歯磨きを終えて鏡を見たときに、ふとした違和感を覚えた。自分の歯の形が以前とは違うように感じたのだ。

「ほんのわずかですが、観音開きの扉を押し込んだときのように、上顎の前歯2本が内側にねじれている感じがしました。最近、食べ物が歯に挟まりやすいなと感じてはいました。まさか歯の形が変わっているとは思いませんでした」

女性は毎食後、必ず歯磨きをするなど、口腔ケアには人一倍気を使ってきました。おかげで一本も歯を失うことなく現在まで過ごしてきたが、歯並びや噛み合わせには無頓着

だったという。

「そのあと何件か歯医者に行ったのですが、『今から矯正するのはリスクが高いのでやめたほうがいい』と全て断られてしまいました。これ以上、歪みが悪化していかないか不安です……」

女性のように、高齢になつてから歯列の歪みが進んでしまうケースは珍しくない。

東京都世田谷区の矯正専門クリニック「矯正・自由が丘歯科」院長で、日本矯正歯科学会認定医の篠崎直樹歯科医師によると、「最近50代以上の中老年の方から相談を受けるケースが増えていく」という。「当院では、以前から成

人の歯列矯正に積極的に取り組んできたこともあり、患者さんの1〜2割程度が50代以上の方です。最近になり歯がグラグラと動き始めて、『このままでは抜けてしまうのではないかと危機感をもたれて来院される方が多いです。ね」

歯並びが多少悪くとも、虫歯や歯周病でなければ、放置しておいても問題ないように思える。しかし篠崎院長は、「歪みを放置すると、高齢になるほど口腔内トラブルが起るリスクが高まってくる」と指摘する。

「よく眼鏡橋に例えるのですが、歯列がアーチ状にきれいに並んでいれば、頑丈で長持ちしますが、一本でも歪みや抜けがあると、そこを起点にして歯列全体が崩壊していつてしまいます。歯列の歪みは自然に治ることはありません。崩壊が進むと、隣り合う歯が重なってし

まったり、抜け落ちてしまったりすることもあります」

問題は、見た目が悪くなることだけではない。歯が重なることで、歯ブラシや歯間ブラシでは磨けない歯ができてしまい、虫歯や歯周病の温床になってしまうのだ。

では、中年になつてから歯列矯正をしても間に合うのだろうか。

「矯正することは可能です。ただ、10代や20代とは異なり、矯正の目的が現存する歯をいかに延命させるか、一生自分の歯で噛むことができるか、という点が変わってきました。場合によっては、残せない歯も出てくるため、残った歯で口内を清潔に保てるように環境を整えていくこともあります」

一方、歯や骨の状態によつては矯正できない場合もある。歯列矯正は、長期間一定の弱い力をかけ続けて骨を変化させる

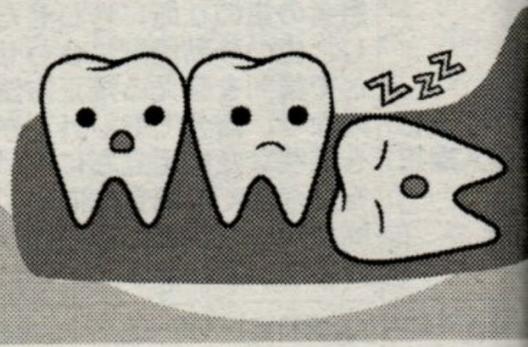


「歯並びの乱れ」

虫歯や歯周病、口臭の原因に

顎の骨が溶けることも!?

「歯のケア」は認知症を防ぐ



ことで、少しずつ歯を動かして歪みを解消していく。そのため土台となる骨（歯槽骨）の状態がよくないと、圧力をかけられないケースや、逆に歯の寿命を短くする恐れもある。

「ただ、矯正が必要な歯は、見方を変えれば『放置しておけばいつかは抜けてしまう歯』とも言えます。それならばダメ元で矯正にチャレンジして、歯の延命に成功された中高年の方もいらっしゃると思います。矯正治療は、2年近く及ぶ場合もあるのですが、最初に担当医とメリットとリスクをよく話し合ってから治療に臨むことが大切です」

歯列矯正は、ワイヤー装置による治療が主流だが、現在は透明な樹脂製のマウスピースを使った方法もある。

「マウスピースは、個人の歯列の形状に合わせてオーダーメイドできるた

め、ワイヤー装置に比べ歯にかかる圧力の調整がしやすく、歯周病の人にはリスクが少ない方法です。ワイヤー装置より痛みが少なく、歯磨きがしやすいのも特長ですね」

メンテしないと歯は乱れていく

費用は、動かす歯の本数と治療期間によって変動するが、半年ほどかけて数本を動かす「部分矯正」であれば20万円から30万円ほど。上下全体の歯列を整える場合は100万円程度が相場だという。自費診療のため、治療費は全額自己負担となる。

また、歯の健康を長く保つためには、治療後のメンテナンスも重要だ。「『後戻り』と言って、矯正が終わったあとと放置しておくと、歪みが元に戻ってきてしまうのです。そのため矯正後も、毎日睡眠時にリテーナー（保

定装置）を着用して形をキープする必要があります。高齢になると、若い頃に比べて骨の量も減るため、メンテナンスを怠れば乱れるのが自然と考えたほうがいいでしょう」

親知らずを放置したことで、口腔内トラブルが起こるケースもある。

そもそも親知らず（智歯）とは、10代後半から20代以降に生えてくる第3大臼歯のこと。人により斜めや真横に向かって生える、歯肉に半分埋まっている、顎の骨の中に完全に埋まっているなど、生え方に大きな差が出るのが特徴だ。ほかの臼歯のように、上下に真っ直ぐ生えてくることはほとんどないため、十分に磨くことができず、智歯周囲炎という炎症を起こしたり、虫歯や歯周病、口臭の原因となったりすることが多い。

東京銀座シンタニ歯科
口腔外科クリニック（中

中央区)では、月に40〜60件前後、親知らずの抜歯を行っている。同院の新谷悟院長によると、親知らずの患者の大多数は30代以下の若者だが、50代以上の中高年も月に1〜2人ほど来院するという。「50代以上で抜歯を行う方は、それまで全く症状

が出なかったか、歯を抜くのが嫌で限界まで痛みを我慢していたかのどちらが多いです。膿や炎症などは抗生剤で抑えられますが、根治はできないため、むしろ症状を悪化させてしまうことが少なくありません」

と、顎の骨が溶けるだけでなく、親知らず周辺の骨が硬化してしまうこともある。そうなるると抜歯が困難になり、通常20分程度で終わる処置が1時間以上かかるなど、患者の体への負担も大きくなるという。

「それから親知らずに限ったことではありませんが、炎症を我慢してしまふと顎骨髄炎を起こして、歯が激しく痛んだり、唇が痺れるといった症状が出る場合があります。難治性骨髄炎になると、全身麻酔を施して顎骨の切除手術をしなければならなくなることもあるため、症状が出たら我慢せずに早めに歯科医院を受診してください」

また、ごくまれにはあるが、抜歯時に下顎の神経を傷つけてしまい、唇や舌に痺れが出る場合がある。ただ、確率的には全体の1%ほどで、仮に痺れが出た場合でも99%は自然に治るそう。では、全く症状がなければ、親知らずを抜かずに済ませることもできるのだろうか。

歯列矯正のおもな種類と費用

方法	内容	料金の目安
表側矯正	歯の表側に装置をつけるオーソドックスな矯正方法。ワイヤー装置が他人から見えやすいのが難点だが、近年はクリアタイプやホワイトワイヤーなど目立ちにくい装置も出ている。歯列全体だけでなく、出っ歯、八重歯、すきっ歯など、部分的に矯正することも可能。舌側矯正と組み合わせること(コンビネーション矯正)もできる。	上下歯列全体の場合 74.5万〜99.5万円 (税抜き)
舌側矯正	舌側(歯の裏側)に装置をつける矯正方法。ワイヤー装置が他人から見えないため、接客業など見た目気に使う仕事をしている人でも治療しやすい。ただし、装置の厚みの分だけ舌を置くスペースが狭くなるため異物感を感じやすく、慣れるのに時間がかかる人もいる。	上下歯列全体の場合 104.5万〜134.5万円 (税抜き)
マウスピース矯正	患者の歯の状態に合わせた透明なカバーを作製し、歯の移動段階に合わせて付け替えていくことで歯列を整える矯正方法。ワイヤー装置とは異なり、自分で取り外しができるほか、見た目も透明なため目立ちにくい。ただし、大きく歯を動かしたい場合は向いていないほか、装着時間が短い(頻繁に取り外している)と治療期間が長引いてしまう。	上下歯列全体の場合 軽度: 52.5万円 中等度以上: 94.5万円 (税抜き)

「矯正・自由が丘歯科」のホームページを参照して作成

「抜歯時の痛みについて、麻酔がしっかりと効いていればほとんどありません。不安な気持ちが強いは、ストレスを和らげる効果がある笑気ガスを使った治療を選択することもできます。抜歯後は、周辺が腫れることがありますがおおむね1週間程度で治まります。抜いたあとは、くぼみができて食べ物のカスがたまりやすくなるので、傷痕が完全に治癒するまで半年くらいは気になるかもしれません」

また、ごくまれにはあるが、抜歯時に下顎の神経を傷つけてしまい、唇や舌に痺れが出る場合がある。ただ、確率的には全体の1%ほどで、仮に痺れが出た場合でも99%は自然に治るそう。では、全く症状がなければ、親知らずを抜かずに済ませることもできるのだろうか。

「親知らずが上下に真っ直ぐ生えていたり、完全に骨の中に埋まっていたり、症状がない場合は、無理して抜く必要はないでしょう。ただ、女性の場合には、妊娠中に親知らずが腫れて高熱が出たり、その際に鎮痛剤や抗生物質などを投与したりすると、胎児に影響を及ぼす可能性があります。それから親知らずは、歯列矯正にもかかわってくるんです。親知らずがあることで『後戻り』が起きたり、ほかの歯を動かせないで結局抜くことになるというケースもあります」

親知らず原因で奥歯抜くことも

また、親知らずが第2大臼歯(親知らずの前に生える奥歯)を横に押すように生えることで、第2大臼歯が虫歯になって抜かざるを得なくなった。歯列が崩れたりすることもあるようだ。こうした将来的に起こり得るトラブルを歯科医と検討したうえで、抜歯するか